

令和5年度 浅子小中学校 学校評価集計表

※ 3.7以上はみどり色、3.0未満は赤で表示

※ 全体平均は、3.6(90%)以上はSA、3.2(80%)以上はA、2.8(70%)以上はB、2.7(69%)未満はCで表示

| | | 「4:あてはまる」「3:ややあてはまる」「2:あまりあてはまらない」「1:あてはまらない」 | 生徒 | 保護者 | 地域 | 教職員 | 平均 | 全体平均 |
|-------------|----|---|------|------|------|------|------|-----------|
| | | 項 目 | | | | | | |
| 1 学校の方針 | 1 | 学校の教育活動全般に満足している。 | 3.3 | 3.5 | 3.4 | 3.2 | 3.3 | 3.5 A |
| | 2 | 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。 | 2.7 | 3.6 | 3.4 | 3.7 | 3.2 | |
| | 3 | 学校は、特色ある教育活動(学力の向上・小中連携・開かれた学校)を行っている。 | 3.8 | 3.7 | 3.4 | 3.6 | 3.7 | |
| | 4 | 学校は、生命を尊重し、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | |
| 2 教職員の様子 | 5 | 教職員は、子どもをよく理解し、個に応じたわかりやすい授業を行っている。 | 3.8 | 3.5 | 3.0 | 3.2 | 3.5 | 3.6 SA |
| | 6 | 教職員は、努力を認め、子どもの能力に応じた対応をし、自主性や表現力を伸ばそうとしている。 | 3.8 | 3.5 | 3.0 | 3.5 | 3.6 | |
| | 7 | 教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。 | 3.8 | 3.4 | 3.0 | 3.4 | 3.5 | |
| | 8 | 教職員は、家庭への連絡や報告を必要に応じて行っている。 | 3.9 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | 3.7 | |
| 3 子どもの様子 | 9 | 子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。 | 3.4 | 3.3 | 4.0 | 3.1 | 3.4 | 3.3 A |
| | 10 | 子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつをしている。 | 3.4 | 2.8 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | |
| | 11 | 子どもたちは、きちんとした身なりをしている(名札・髪型・服装・清潔感など)。 | 3.3 | 2.8 | 3.5 | 3.5 | 3.2 | |
| | 12 | 子どもたちは、学校行事や部活動等に積極的に取り組んでいる。 | 3.6 | 3.3 | 3.6 | 4.0 | 3.6 | |
| 4 教育環境 | 13 | 各家庭では、しつけや基本的な生活習慣等を、きちんと身につけさせるように努力している。 | 3.7 | 2.9 | 2.7 | 3.1 | 3.2 | 3.5 A |
| | 14 | 学校は、危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。 | 3.6 | 3.5 | 3.8 | 3.7 | 3.6 | |
| | 15 | 学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育が行われている。 | 3.8 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | |
| 5 開かれた学校 | 16 | 学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。 | 3.6 | 3.6 | 3.8 | 3.6 | 3.6 | 3.6 SA |
| | 17 | 子どもたちは、育友会や健全育成会など、地域の行事によく参加している。 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.8 | 3.5 | |
| | 18 | 地域の住民は、子どもたちを大切に、励ましたり、注意したりしている。 | 3.7 | 3.3 | 3.2 | 3.6 | 3.5 | |
| | 19 | 学校は、学校や学級の様子を、お便りや学校だより、安心安全メールなどで必要に応じて知らせている。 | 3.9 | 3.8 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | |
| | 20 | 学校は、地域の行事をよく理解し、協力的である。 | 3.7 | 3.7 | 3.6 | 3.1 | 3.6 | |
| 平均 | | | 3.60 | 3.39 | 3.43 | 3.51 | 3.50 | |

結果の考察

全体平均は3.51で、昨年度の3.44よりも0.07ポイント上昇している。新しい3学期制の2年目の、前半の学校の取組が高く評価されていることがわかる。

「1 学校の方針」では、「2 学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の児童生徒の項目が低かった。地域、家庭には学校だよりや学級通信、学校 HPなどで学校の教育方針が伝わっているが、子どもたちに自分たちの目指すべき姿のイメージができていないことがわかる。日頃から目指すべき生徒像を児童生徒に伝えるだけでなく、その姿を教職員もきちんと理解して教育活動を行っていく必要がある。

「3 子どもの様子」では、「10 子どもたちは誰にでも気持ちの良いあいさつをしている」(昨年度も低かった)、「11 子どもたちは、きちんとした身なりをしている(名札・髪型・服装・清潔感など)」の保護者の評価が低く、学校、家庭での更なる指導の必要性を感じる。フンストップ挨拶や授業開始時の号令のかけ方、身なりチェックなど、児童生徒会の活動を通して、子どもたち自らの手で改善を目指す必要がある。

「4 教育環境」では、「13 各家庭では、しつけや基本的な生活習慣等を、きちんと身につけさせるように努力している。」の項目に落ち込みがみられる。参観日などに、保護者対象の子育て講座等を行い、しつけについて保護者が学ぶ機会を設定したりして、家庭の教育力を高める取り組みを行う必要がある。

「5 開かれた学校」では、昨年度低かった「20 学校は、地域の行事をよく理解し、協力的である。」の教職員の項目が改善している。コロナが第5類になり、職員や地域の行事等への参加の機会が昨年度に比べて増加したことが原因と考えられる。今後ともコロナ過前の状態に徐々に戻していき、学校と地域・家庭の結びつきをさらに強くしていく必要がある。